

平成 25 年 2 月 7 日

## ＜第 9 回スポーツと環境担当者会議＞出席報告

- 開催期日 : 平成 25 年 2 月 4 日 15:00 ~ 17:00
- 場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター 1 階 研修室
- 主 催 : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 出席者 : JOC 役員、スポーツ環境専門部会員、加盟団体環境担当者、約 100 名  
日本水泳連盟 ; 佐野和夫会長、泉正文専務理事、丸笹公一郎委員、野原亨委員、  
小川事務局次長
- テーマ : 「スポーツ界における環境保全・啓発活動の促進に向けて」  
第 1 部 競技団体における環境啓発・実践活動の取り組みについて  
第 2 部 スポーツと環境保全・啓発活動の理念と実践について
- 報告者 : 丸笹公一郎 (日本水泳連盟スポーツ環境委員)

### ◆ 会議概要

平成 25 年 2 月 4 日 (月)、スポーツと環境に関する啓発・実践活動の理解を深めると共に、JOC 加盟団体等多くの関係者・関係団体との環境保全について相互の連携、活動の推進を図ることを目的に「第 9 回スポーツと環境担当者会議」が公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC) 主催により東京都内北区にある味の素ナショナルトレーニングセンターにて開催されました。

当日は、佐藤征夫 JOC スポーツ環境専門部会部会長の開会挨拶を皮切りに第 1 部では公益財団法人バレーボール協会の橋口陽一環境委員長より古くなったボールや用具を回収し、寄付やリサイクルを行う「バレーボールバンク」の活動報告と世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会宮崎三美事務局次長よりイベントの持続可能性に関するマネジメントシステムである「ISO20121」を取得した大会運営の環境啓発・実践活動についての報告が行われました。

第 2 部では国際オリンピック委員会スポーツと環境委員の水野正人 JOC 副会長によりロンドンオリンピックでの環境活動についての報告および 2020 年東京オリンピック招致活動における①環境負荷の最小化②自然と共生する都市環境計画③スポーツを通じた持続可能な社会づくりを三本柱とした「2020 年東京オリンピック・パラリンピック環境ガイドライン」の説明が行われました。

以上